東都學生大學新聞
昭和八年一月一日 第五〇三二号 毎月一回一日発行 定価一部金一十銭 郵税一銭 学生一人 山口三二

滿洲國中央銀行から十名の求人申込み

月收は二百圓と言ふふれこみ

願書は十二日までに

▼滿洲國中央銀行から十名の求人申込みがあつたが、月收は二百圓と言ふふれこみで、願書は十二日までに提出せねばならぬ。

▼十二月一日、中央銀行から、本学に対して、中央銀行

ジャーナリズムの流れに棹さす

京・阪各社を一瞥する

彼はどんな人を採用するか

33年はいはゆるインフレ景氣に明けた。世界が何となく騒らかに、經濟界は活潑で、殆ど盛上がる氣配の中に、学生諸君の卒業期は迫まり、就職戦線は三月の解禁期に、みつなりの色を濃くしてきた。今年の就職戦は、昨年の不況の影響を受けて、一層の苦戦を強いられるであろうと、学生諸君の間に、ひとしく、不安の色が濃くなってきている。

彼は如何にして就職したか

この就職戦線に、どんな方法で、どんな武器を用いるべきか、どんな人物が、どんな方法で、どんな武器を用いて、どんな人物が、どんな方法で、どんな武器を用いて、どんな人物が、どんな方法で、どんな武器を用いて

1933年の學士新就職戰線に登場したデパート

今まで顧みられなかつた保險會社の外務員

1933年の學士新就職戰線に華やかに登場したのはデパートと保險會社である。デパートの學士採用は今年に始まつたことでは無いが、昨年までは殆どこれを顧みなかつた保險會社が今年に入つて俄かに學士を採用するに至つたのは、一面に於ては學士の職業に対する考へ方の変化を物語るものであつて、それ丈け學士の職業が重視されてゐるのだと言へる。

店員幹部候補生として約十名を採用する

健康で朗かな人を

大丸梶原人事部長談

大丸本店の人事部長梶原氏は、「毎年同氏にお願ひかたがた、今年の學士採用の模様を伺ひましたが、今年は採用人員は昨年と大体同じ位の約十名を採用する予定で、その中に女子が二人ほどあります。採用の條件としては一般に健康で朗かな人、とくに國民、殊に色白、皮膚の厚い、明朗闊達な人柄を重んじます。第二に人として部下を指導する能力のある者、第三に学歴的でなくとも、実際的に役に立つ者、第四に学歴的であつても、実際的に役に立たぬ者、それ以外の者は採用しないつもりです。学歴的でなくとも、実際的に役に立つ者とは、例へば、商業学校の卒業者で、簿記の技術に優れてゐる者、語学に優れてゐる者、或は、ソロバンの達人、タイプライターの達人、速記の達人、ペン習字の達人、ペン習字の達人、速記の達人、ペン習字の達人、速記の達人、ペン習字の達人、速記

大學改革論（上）

個人主義大學より 共同主義大學へ

石川興二

大學の教育なるものは、世間普通の考へ方からすれば、學問研究に熱心な教授と、研究に熱心な學生とが、教室に集まり、教授は、その研究の結果を、學生に傳へ、學生は、教授の研究の結果を、教室で聞いて、それを、自己の研究の材料として、自己の研究を、進めて行くものであると、思はれてゐる。

そして、教授は、研究者であり、學生は、研究者の卵であるから、教授は、研究者として、學問の、最高の、權威者であり、學生は、研究者の卵として、學問の、最高の、權威者の、教を、受くべき、權利を、有するものと、思はれてゐる。